

# 「かわいいおばあちゃん」

—— 女子大生の「かわいい」の語法に見られる、  
ライフコース最終期に関する社会の葛藤する価値観の止揚 ——

小 原 一 馬

## “CUTE” GRANDMA

—— Sublation of Two Conflicting Social Images/Roles of the Final Term  
of Life Course by Young Female Japanese Concept of “Cuteness (KAWAI)” ——

Kazuma KOHARA

大塚英志が、森の聖なる老人を見舞う少女たちについて論じてから10年の時が過ぎた（『少女達のかわいい天皇』大塚1988）。1992年には、きんさん・ぎんさんの100才の誕生日を期に、この双子姉妹は国民的アイドルの位置へとおしあげられ、「かわいいおばあちゃん・おじいちゃん」像は、今や社会にすっかり定着したように見える。そして、1998年の資生堂のCMでは、吉川ひなのが愛用の化粧品に次のように話しかけている。「かわいいおばあちゃんになれるまで、一緒に頑張ろうね」と。

このCMは次のようなことを象徴しているかのようだ。

大塚英志が見た、聖老人の無垢さと傷つきやすさへの少女達の共感、今や彼女達の将来の理想像になったのだと。

しかし大塚英志が少女の「かわいい文化」に向ける、畏敬の念さえこもったその注視は、男性知識人たちのなかでは、異端に過ぎない。

例えば、日本の「かわいい文化」についての代表的な論考の一つである増淵宗一の『かわいい症候群』は、題名の「症候群」の語が象徴的に示すように、若い女性の「かわいい文化」を、オーセンティックな価値に従属するB級文化と捉え、そうした語の蔓延をある種の社会的病理現象だと考えている（増淵1994）。また『変体少女文字の研究』で知られる山根一真も、『「ギャル」の構造』のなかで、かわいい文化を、若い女性の幼児化だときめつけ、その世代の女性の退行現象だと捉えている（山根1986、1991）。また、これらの論考に限らず、「かわいい」は若い女性の語彙の貧困さの象徴として常に批判を浴びつづけてきた<sup>(1)</sup>。

にも関わらず、TBS系の「さんまのスーパーからくりTV」の「ご長寿早押しクイズ」やちびまるこちゃんの「おじいさん」像などを通し、こうした感性はだんだんと社会全体に浸透しつつあるように見える（資料4 回答例12、17、42 資料5 回答例11、15）。

本稿のテーマは、若い女性のこうした「かわいいおばあちゃん・おじいちゃん」といった、感性と言語表現の潜在的機能を探ることである。

## 仮 説

これまで老後に関して二つの対照的なイメージ／価値観が存在した。人格的成長の最終的到達点としての「賢者」のイメージ（価値観A）と、労働力としての無力化にともなう「厄介者」のイメージ（価値観B）である。前者は長幼の序を尊ぶ、儒教的な伝統の中で育まれてきており、また、西欧でもエリクソンなどの理論にその反映が見られる。後者のイメージは、平均寿命の伸長による、老人性痴呆症の増加や要介護者の数の増大、また、情報化社会の進展による個人の中にストックされる知識の相対的価値低下などによって、社会問題としてクローズアップされるに至った。また、民話の「姥捨て山」はその両方のイメージを表現しているといえる。

この二つのイメージ／価値観をめぐる葛藤は、家族レベルでいえば、老親と成長した子供たちとの間で、これまでの役割期待に双方が応えられなくなる、という安定した相互作用の危機でもある<sup>(2)</sup>。

もちろんこうした問題は、はるか昔から存在したし、それに対する我が国における文化的装置としては、還暦の赤いちゃんちゃんこの儀式や隠居の制度などが今日まで伝えられてきたわけである。最近「発見」された老人力などもその新機軸として考えられる（赤瀬川 1998a）<sup>(3)</sup>。

そして「かわいいおばあちゃん」もまた、この古くて新しい問題の解決の装置として、我々の社会により利用されはじめたのではないか、というのが、本稿において、最初に立てられた作業仮説である。

この仮説の前提は次のようなものだ。すなわち「おばあちゃん・おじいちゃん」が、「かわいい」という概念で「被保護対象」として、子供などとひとくくりにならめあげられることによって、その価値化が転倒的な形でなされ、旧来の二つの価値観の葛藤が解消されるということである。

この仮説の前提は、次の予備調査の結果一部分が放棄され、より洗練された仮説へと置き換えられることとなった。

## 予 備 調 査

この仮説に関して、まず最初にインターネット上の複数の掲示板を通じて、老人介護経験のある若い世代の看護婦・看護学生にオンラインで意見をたずねたところ、15人の方から回

答を得られた。その全員が、老人に対して「かわいい」と感じたことがあり、またその多くが、そうした「かわいさ」が看護の喜びに何らかの形でつながっていることを書いていた（資料1 回答例1など）。

しかし、その「かわいさ」の意味合いに関しては、様々な考えがあることもわかってきたのである。私の仮説が予期したように、老人に子供の姿を重ねているようなケースも確かに見られるのだが（回答例3など）、しかしその一方では、老人の「かわいさ」は子供のかわいさとはまた意味合いが違うという意見も多く見られた（回答例4～7など）。そうした「老人のかわいさ≠子供のかわいさ」派の一人に、Eメール交換を通じてさらにつっこんでその違いについてたずねたところ、その老人のもつ愛情や純粋さに対する、あこがれや尊敬の念が、「かわいさ」として感じられる、そういう点が、子供のかわいさとは、違う、というような趣旨の回答を得た。そして、その「かわいさ」に、あこがれや尊敬の気持ちが含まれているという点で、私自身がある種の中年の女性に感じる「かわいい」という感情とも共通性がありそうだというような感想を持ったのである。

そこで次のような調査を企画した。ここで「かわいい同年代、あるいはそれ以上の男性」についてたずねているのは、「かわいいおばあちゃん、おじいちゃん」「かわいい中年女性」のイメージとの比較に用いるためである。

## 調 査 の 概 要

ここでは、現代女子大学生における「かわいい」という言葉の語法、特に、従来「かわいい」という形容がほとんど用いられなかったと考えられる年上の男性、中高年の女性（特に両親、高齢者）に対する「かわいい」の語法について調査を行っている。

質問紙は、後述する理由により二種類作られ、最初の質問紙は1999年6月に、X大学とY大学で教職科目の教育社会学を受講した女子学生110名（X大学38名、Y大学72名、18から20歳）に配布・回収された（数字は回収分）。回収率はそれぞれ90%以上であり、うち性別の無記入であった2例と年齢が25歳以上であった1例を除いて分析している。X大学は共学であり、調査対象は人文科学系学部と社会科学系学部に所属している。Y大学は女子大であり、調査対象は人文科学系学部と家政系学部に所属する。

二番目の質問紙は1999年9月に、教職科目の教育社会学を受講したX大学の女子学生47名（18から22歳）に配布・回収された（数字は回収分）。回収率は90%以上である。うち年齢が25歳以上であった1例を除いて分析している。変更点とその理由については後述する。

本稿での発表のデータは、特に述べない限り、第一回目の調査の結果によっている。第二回目の調査は一回目の調査の結果の解釈の妥当性をはかるために用いられる。

第一回目の質問紙（資料1）は、1 同年代あるいは年上の男性、2 中年の女性、3 お年寄り、4 両親、の4つのパートに分かれ、それぞれの対象について、A そうした対象をかわいいと思うことがあるかないか、B かわいい\*\*（例えば、かわいい同年齢あるいは年上の

男性)のイメージ、C かわいい\*\*について個人的にどう思うか、D そうした対象に対して「かわいい」と感じた時、いうのをとどめることがあるかないか、E とどめることがあるのであれば、とどめずにいってしまうのはどういう場合か、F 普段はかわいいとは思えない\*\*に対して、かわいいと感ずることがあるかないか、G あるとしたらどういう具体的状況かをたずねている。(高齢者と両親に関しては、F と G の設問を省略)。今回は、両親についての結果は特に分析していない。

### 調査結果1 かわいい中年女性のイメージ

まず「同年代あるいはそれ以上の男性」の場合に比べると「かわいいと思うことがある」という回答は多少少ないが、それでも74%がYESと答えている。また、かわいい中年女性に対して否定的な回答はほとんど全くみられず(3%)、多くが「自分もそうになりたい」と述べている(資料3、6)。

女子大生の「かわいい中年女性」についてのイメージや個人的意見を見ると、「同年代、あるいはそれ以上のかわいい男性」のイメージと比べて、決定的に違う点が二つ存在する。まず第一に、「同年代、あるいはそれ以上のかわいい男性」のイメージでは頻出している、「普段の外面的・内面的イメージとのギャップ」をかわいさの条件とするような回答がほとんど存在しないことである(男性についての回答例は、資料2のIVβ: 42-48、中年女性についての回答での例外は資料3: 回答例41)。

この傾向は、多くの女子大生にとり、成熟した女性像と「かわいさ」との間に何の矛盾も感じられないということを示している(例外: 資料3 回答例43、44)。

第二点は、「同年代、あるいはそれ以上のかわいい男性」のイメージでやはり頻出している「甘え」を指摘する回答が「かわいい中年女性」のイメージではほとんど見当たらないことだ(男性についての回答例は、資料2のⅡ: 回答例10-18、女性についての例外は資料3 回答例38-40)。

この傾向は、女子大生が中年女性に見出す「かわいさ」が、親子関係に比されるような保護・被保護の上下関係とはまた異なったものであることを意味している。それはどちらかというところ、年長者がより「上」にあることを前提とした上で、それにもかかわらず「大人ぶらず」「考え方が若い世代と共通」して「近づきやすい」ことへの賞賛の表現なのだ(資料3 回答例Ⅱ)。「大人」であるにもかかわらず、自分たちの側にいてくれることを「かわいい」として表現しているのである。これはある種、グラノヴェッターのいう「弱い紐帯の強さ」の認識なのかもしれない。「かわいい中年女性」が、異なる年齢集団間のリンクになっているということが推測される。

ゆえに、女子大生が中年女性に対して感じる「かわいい」は、以下に見るようなイメージの場合も含め、自分が、年長の女性に対して精神的に優位にあることを確認するものではない。このことは、サンプルの2/3が、中年女性に対して「かわいい」と感じた時に、「かわいい」ということをとどめないで答えていることからわかる(資料6、資料3: 回答例50など)。この割合は、「同年代あるいはそれ以上の男性」に対して、「かわいい」ということとど

めない、という割合（48％）よりもはるかに高い。またたとえ、とどめるとしても、それは「かわいい」の語法の世代間ギャップを知った上で、誤解を避けるためにとどめているに過ぎないのである（資料3 回答例51、52）。

女子大生の持つ「かわいい中年女性」のイメージとして、それら「近しさ」のイメージ（回答例Ⅱ）や、「かわいいの男性」のイメージにも含まれる「無邪気さ」「素直な感情表現」など（回答例Ⅲ）の他に、二種類の対照的な像が見出せる。はつらつとしてパワフルな若さあふれるイメージと、おだやかで上品な慎み深さのイメージである（回答例Ⅳ、Ⅴ）。

このうち、特に前者にはっきりとあらわれているのは、年齢を「ハンディキャップ」と捉え、そうした「ハンディキャップ」を乗り越えて若さを保っている「かわいい中年女性」への讃嘆の声である。若さが素晴らしいものであるという前提で、単に若いのではなく、中年なのにその若さを保持していることへの驚きと感動がそこに表現されている。後に見るが、このような「かわいい中年女性」のイメージは、「かわいいおばあちゃん」における若さ・元気系のイメージに直接つながっている。そしてそれは、最初に見た二つの価値観の葛藤の一つの解決策になっているのである。

さて、もう一つの「おだやかで上品な慎み深さ」のイメージであるが、これは回答例37が明らかにしているように、保守的な「かわいい女の子」「かわいい妻」像を、中年期にまで延長したものであると考えられる。力強い夫や、家の財産などに守られて、世間知らずなまま、外への自己主張の必要もなく、安心して生活することのできることにあこがれの表現であるといっていよう。もっともそこには、世慣れすぎて、恥を知らずに我儘を押し通す「オバタリアン」への批判が込められているのも確かである（回答例29など）。これは、「かわいいおばあちゃん、おじいちゃん」における円熟・謙虚系のイメージとある種つながっている。

## 調査結果2      かわいいおばあちゃん、おじいちゃんのイメージ

では次にかわいいおばあちゃん、おじいちゃんについてみていこう。お年寄りをかわいいと思うことのある割合は、とても高い（86％）。また、かわいいおじいちゃん、おばあちゃんを肯定的に捉える率は、今回の調査で選んだ対象（年上の男性、中年女性、両親）の中では最も高く、またその中には自分もそうなりたいと答える回答が多く含まれている（資料3、資料4・5）。

かわいいおばあちゃん、おじいちゃんのイメージで、最初に指摘しておくべきなのは、かわいい中年女性の場合と同様、ギャップ系、甘え系の回答の不在である。このことの意味はかわいい中年女性の場合と同様であると考えられる。つまり、女子大生にとっておじいちゃん・おばあちゃんがかわいいことは、何ら不自然ではないし、また、彼女たちが「かわいい」と感じるものが必然的に精神的に優位にたつということでもないということである。

その「かわいい中年女性」の場合と比べて、「かわいいおじいちゃん、おばあちゃん」のイメージとして特に目立つのは、その愛情や幸せ、笑顔などを挙げる回答が非常に多いことである（資料4：Ⅱ）。夫婦間の愛情や子供への愛情を示す行為をあげる回答は、かわいいおとうさん・おかあさんのイメージでも目立って多い（回答例は今回省略）。

このように愛情表現が多くイメージとして挙げた原因として、設問において、おじいちゃん・おばあちゃんをペアにしたことの効果、そして、「かわいい」とは別に、おじいちゃん、おばあちゃんという言葉それ自体のイメージなども考えられた。そこで第二回調査では設問を、

「70代以上のかわいい女性・男性」のイメージを述べてください。もし女性・男性それぞれ別のイメージがあれば分けて書いてください

に変えてみた。その結果「老夫婦が仲良く手をつないで歩いている」といった、TVCMの影響を受けているとも思われる回答は激減したが、しかし笑顔をイメージする回答は多数残った(資料5)<sup>(4)</sup>。

いずれにせよ、愛情表現もまた素直な正の感情表現の一つであると考えられ、それが特に両親や老夫婦の間で、また肉親の間で行われる場合には、性と無関係の純粋さが印象づけられ、「かわいさ」としてうつるものと推測される。

では、ここから先、資料4であげた分類の順番に従って見ていこう。

愛情表現以外の、無邪気さ、一生懸命、天然ボケなど、ヒューマニズムを連想させる項目が並ぶのは、同年代あるいはそれ以上の男性や中年女性などの場合と同様である(資料4・5:Ⅲ)。しかしそのなかで、天然ボケに関しては、老人性痴呆症との関係で別の意味が加わる。こうした「ぼけ」を「かわいい」として価値化するの、最初に見た価値観A・Bの葛藤の解決に寄与するかもしれないからである。「ぼけ」を「かわいい」として価値化しているもののうち、その一部は資料5回答例14のように慎重な態度を見せているが、「かわいい」と言うことを「とどめることがある」あるいは「つねにとどめる」としているのは半数程度でしかない。残り半数の「とどめない派」にとってはすでにそうした葛藤は葛藤でなくなっているものと考えられる。

次の「のんびり・穏やか系」「ほのぼの系」(資料4・5:Ⅳ)にいたっては、「老人力」的性格は明らかで、老いによる思考・行動のスピードの低下をはっきりと価値化している。ここで価値観A・Bの葛藤は完全に解消される。その価値化は、回答例の「見ていて心が安らぐ感じがする」「ああいなあ」「大好き」などのコメントからも明らかである(資料4:回答例19、21、22)。

続く「弱さ系」でも、コメントの「見ていてほのぼのとしたあったかい気持ちになる」などから、ほぼ同様の意味合いがあることが見て取れる(資料4:回答例26)。

次の円熟・謙虚系は、「かわいい中年女性」の上品で控えめ系のイメージと連続しているように、どこかに跳躍があるともいえそうだ。その「かわいさ」は単なる慎みをつきぬけている。それは、賢者のかぶる愚者の面なのである。これもまた、価値観A・Bの葛藤の解

決の一つの姿といえよう。資料4の回答例29は、禅の公案にあらわれる伝説の高僧を思わせる。弟子の悟りを助けるために、愚者を自然体で演じて見せるその姿に「かわいさ」が重ねられているのである。

最後の若さ・元気系については、「かわいい中年女性」の若さ系をそのまま引き継いでいる。そこで述べたように、このイメージにおいて年齢はハンディキャップの役目を果たしている。高齢という重いハンディキャップを背負った老人にとって、ほんのちょっとした「若さ」でさえもが賞賛の対象となる。老人の「若さ」は、若い人間の若さとは、まったく意味も重みも異なるのである。このような相対評価の導入によって、価値観A・Bの葛藤は見事に解決される。

## 結 論

この調査は、最初の作業仮説に重要な修正を加えた上で、それを支持する結果となった。

すなわち、「かわいいおばあちゃん・おじいちゃん」という概念は、「賢者」としての老人（価値観A）と「厄介者」としての老人（価値観B）という二つの価値観の葛藤の止揚を確かに導いている。しかし、その方法はかならずしも、老人を子供に見立て、保護対象として価値化する、というようなものではなかった。その葛藤の解決は、「かわいい」の多義性によりさまざまな方略に委ねられていることが明らかとなった。それは、おだやかでほのぼのとした、周囲に心の安寧をもたらす老人の姿であり、また、「かわいさ」という仮の姿に身を委ねることによって、その秘められた知を伝える老人の姿であり、あるいはまた、年齢というハンディキャップを乗り越え、若さを保ち続ける老人の姿であった。このようなイメージにより、「かわいいおばあちゃん・おじいちゃん」という概念は価値観A・Bの葛藤に止揚をもたらすのである。

またその一方で、多くの女子大生にとり「かわいい」という感情は、年齢性別を問わず、どのような対象に関しても、その無邪気さ・一生懸命さ・純粋な愛情・素直な正の感情表現、そしてユーモアなどといった、人間性の発露に出会った時に感じられる思いであることもわかった。多くの女子大生にとり、このような意味こそがおそらく「かわいい」の第一義であり、ゆえにそこには、子供に対して接する時のような精神的優位は存在しない。あるのは、美しいものにふれたときと同様の喜びの感情なのである。

もちろんこのような意味での「かわいい」の対象は、年齢性別を問わないため、それは老人であることもあるだろう。しかし、それはたまたま老人であった、というだけのことであるので、今回の仮説には直接関係しないように思われる。ただし、軽度の老人性痴呆症が、我々の考える「純粋な人間性」を引き出しているということは十分考えられよう。そのような意味では、こうした「かわいい」もまた、価値観A・Bの葛藤の止揚に役立っているといってもよい。

ただし、「かわいい」にこのような機能がある、ということと、このような機能が「原因」として、その結果、こうした「かわいい」概念が流通した、ということとはまた別のことである (Elster 1983)。ゆえに本テーマにおける次の課題は、このような「かわいい」概念の成立期について調査し、「かわいい」概念のそのような機能から、伝播にいたるフィードバックが存在したのか、ということをも明らかにすることである。

### 註

- (1) かわいいという言葉の使用に関し、若い女性の語彙の貧困さを指摘した一つの例として Stit (1999) がある。また、「むかつく」という言葉に関しての同様の指摘は斎藤 (1998) が行っている。女子大生に特徴的なヴォキャブラリーについては、小矢野 (1993) を参照。
- (2) この仮説の基礎にあるのは、ゴフマン的な意味での機能主義である。ゴフマンは「当惑」という論文の中で、役割葛藤による社会秩序のゆらぎが「当惑」という感情によって解決される、という「当惑」の潜在的機能についての仮説を提出しているが、本稿の仮説も彼の理論をその基礎としている (Goffman 1967 = 1986)。
- (3) この「老人力」は、老人のぼけや記憶力低下などをより積極的に評価する概念として赤瀬川により提唱されたが、その後、まだまだ元気な老人の「若さ」という意味での「誤用」が増えてきた。しかし赤瀬川自身はこの「誤用」について特に問題視はしていない。本稿の分析対象である「かわいい」同様、「老人力」もこうした多義性によって、その潜在的機能を拡大しているように思われる (赤瀬川 1998 a, 1999 b)。
- (4) この CM (ライオン・チャーミーグリーン) の放映時期は両調査の時期に比べてかなり古く、第一回と第二回の調査の時期が3ヶ月ずれたことの影響はほとんどないはずである。

### 参 考 文 献

- 赤瀬川原平 1998 a 『老人力』 筑摩書房  
 ——— 1998 b 『老人力のふしぎ』 朝日新聞社  
 ——— 1999 a 『老人力自慢』 筑摩書房  
 ——— 1999 b 『老人力2』 筑摩書房
- Eibl-Eibesfeldt, I. 1970 *Liebe und Hass*. Piper. (1986 日高敏隆, 久保和彦訳『愛と憎しみ: 人間の基本的行動様式とその自然誌』みすず書房)
- Elster, J. 1983 *Sour Grapes*. Cambridge University Press
- Erikson, E. H., Erikson, J. M., Kivnick, H. 1986 *Vital involvement in old age*. Norton (『老年期: 生き生きしたかわりあい』朝長正徳, 朝長梨枝子訳 みすず書房 1997 年)
- 遠藤織枝 1992 『女性の呼び方大研究: ギャルからオバさんまで』
- Goffman, E. 1961 *Encounters*. New York: Bobbs-Merrill (『出会い』佐藤毅, 折橋徹彦訳, 誠信書房, 一九八五年)
- . 1967 *Interaction Ritual*. New York: Pantheon (『儀礼としての相互行為』広瀬英彦, 安江孝司訳, 法政大学出版, 一九八六年)
- . 1983 "The Interaction Order" *American Sociological Review* 48: 1-17
- Granovetter, M. 1995 *Getting a job: a study of contacts and careers* (2<sup>nd</sup> ed) University of Chicago Press (『転職: ネットワークとキャリアの研究』渡辺深訳, ミネルヴァ書房, 一九九八年)
- Kohlberg, L., Levine, C., Hewer, A. 1983 *Moral stages*. Karger, (『道徳性の発達段階: コールバーグ理論をめぐる論争への回答』片瀬一男, 高橋征仁訳 新曜社 1992 年)
- 蔵 琢也 1993 『美しさをめぐる進化論: 容貌の社会生物学』勁草書房
- 小矢野哲夫 1993 『女子大生用語の基礎知識』  
<http://www.osaka-gaidai.ac.jp/~koyano/joshidai93.htm>

小 原：「かわいいおばあちゃん」

- 増淵宗一 1994 『かわいい症候群』日本放送出版協会
- 根ヶ山光一、鈴木晶夫 1995 『子別れの心理学：新しい親子関係像の提唱』福村出版
- 大塚英志 1988 「少女達のかわいい天皇」中央公論 12月号 243-249
- . 1991 『たそがれ時に見つけたもの－「りぼん」のふろくとその時代』大田出版
- . 1996 『「彼女たち」の連合赤軍：サブカルチャーと戦後民主主義』文芸春秋
- 岡原正幸、山田昌弘、安川一、石川准 1997 『感情の社会学：エモーション・コンシャスな時代』世界思想社
- 齋藤 孝 1998 『「ムカツク」構造』世織書房
- 関口礼子編 1996 『高齢化社会への意識改革：老年学入門』勁草書房
- Stigler, J. W., Shweder, R. A., Herdt, G. (ed.) 1990 Cultural psychology : essays on comparative human development : Cambridge University Press
- Stit「かわいい」Da stit's WORKs 臨時増刊第4号  
[http://www.geocities.co.jp/Milkyway/2461/be\\_work4.html](http://www.geocities.co.jp/Milkyway/2461/be_work4.html)
- 山根一真 1986 『変体少女文字の研究』講談社
- . 1991 『「ギャル」の構造：情遊化社会と女性パワー』世界文化社

## 資料1：予備調査－回答例

### I かわいさと介護の喜び

「専門職業人としてその都度の言葉づかいに気を遣いますが、子供に接するように頬や頭をなでたり、思わずかわいいといってしまうこともあります。老人の介護や看護に携わるとき、その仕事の過酷さ（ちょっと汚いことが多い）を克服するためには、お年寄りをかわいいとおもえる気持ちがないととてもやって行けないように思います」 1

### II 介護場面での子供の扱い

「実際に臨床では高齢の患者さんに対して「幼い子供」のように接しておられる看護婦さんを見かけることがよくありますし、友達が実習で93歳の患者さんを受け持ったときも、かわいいと言っていました。他の病院はどうなのかかわからないのですが、わたしのかよう学校の付属病院では、患者さん、ことに高齢の方に関してはほとんどの看護婦さんは敬語を使っておられないです。わたしの地方の方言を交えないと老人には、うまく意思が伝わらないからだろうかとも思いますけれど」 2

### III 子供のイメージ

「痴呆のある方が可愛いおばあちゃん……と言われる事が多いように思います。変なプライドとか邪魔なものが取れてとても無邪気にいい笑顔を見せてくれたりします。子供の頃に帰ってしまうようで、夢中になって刺し子やお手玉をするしぐさや、ほめて欲しそうにしている姿がちいさい子供のようにみえて抱きしめてしまいたくなるほどかわいいことがあります」 3

### IV 子供のかわいさとの違いを強調

「私も失礼な意味じゃなくかわいい人だなあ、と思えるご年配の方々と接してきました。ここでいう『かわいい』はあんな風になりたいなという尊敬やあこがれの意が少し入っています。決して幼い子供に対して抱くかわいいとは別物です」 4

「かわいいというのは、赤ちゃんをみて感じるような“かわいさ”ではありません。もっと根源的なものです。いとおしい、慈しみ、せつなさ、などが入り混じったものです。たとえば年配の患者さんが、食事介助のとき『あなたはもうご飯を食べたの?』と看護者への気遣いをされたときなど、人間として根源的な感情をもちます。年配の方を幼児扱いにして、感じるようなかわいさではありません」 5

「私も、(上記の回答例4、5に)同感です。幼い子を見ての“可愛い”と、年配の方に感じる“可愛らしさ”は全く別のものです。おじいちゃん、おばあちゃんに対して、“可愛い”と思うときは、どちらかというと、自分たちを孫のように可愛がってくれる時でしょうか。あと、何事にも、ニコニコと笑顔を絶やさない方。老人性痴呆症により、幼児化した方々も

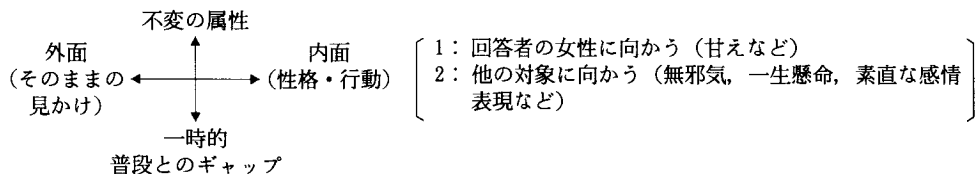
時々可愛く思える時もあります。でも、これは看護者（いわゆる他人）だから、言えることなのかも知れません」6

「かわいいと思うときはやっぱりあります。子供に関する感情とは確かに違います。いろんな時がありますが、例えば『ご飯を食べないと死んじゃうよ』といつもいっている患者さんがご飯やおやつを前にして、とても喜んでいる時、食べたいから一生懸命なんだなあと思ったり。就寝のお薬を持っていったら、すごい方言で『おまえ様も休みなさい』とベッドをつめてくれたり。でも、これは看護婦だから言える台詞で、家庭の方にとっては問題行動の一つにすぎないのかもしれない」7

## 資料2：同年代あるいはそれ以上の、かわいい男性のイメージ

（カッコ内はそうした思性に対する回答者の個人的意見）

### 分類方法



### I 外面的イメージ（基本的に不変の属性、評価は肯定的が多いが、無関心・否定的などもありさまざま）

「童顔（→好き）」1、「顔がかわいらしい（→好きです）」2、「背が小さくて動きが大人っぽくない（→自分自身そういうタイプなのでかえて年相応より良い）」3、「色白、女の子みたい（→いいと思う。見ていて心が和む）」4、「背が低くおもしろい ちょこまか動く（→いいと思う）」5、「童顔、女性でも着れそうな服を着ている。とにかく外見でのイメージのみで内面的なイメージはうかばない。内面的に『かわいい』のは単に女っぽいだけ（→別にいいけど、あまりかわいくあってほしくない）」6、「どちらかというと小がらで童顔な優しい感じ（→かわいいと思うだけ）」7、「ちっちゃくて、動作がかわいい。わらいかたがコロコロしている（→なでてあげたい）」8、「小柄である。目が大きくてくりくりしている（→特に何とも思わないけど、かわいいのは魅力の一つでしょう）」9、他、童顔・小柄・女性的外見を指摘するもの多数

### II 内面のイメージで、自分（回答者の女性）に向かうもの、主に属性的で、評価は一例を除き全て無条件肯定）

「甘え上手で少し頼りないっぽいカンジ（→全然いい。好きになることもある）」10、「女に対して自分をよく見せたがり、その様子が見え見え。強がっていても実は臆病。さびしがりや。悩みを抑えきれなくて慰めを求める。素直（→好き。）」11、「甘える小犬のような感じ

(→愛おしい)」12、「甘えん坊 さみしがりや 無邪気 素直 (→大好き。守ってあげたくなる。母性本能をくすぐられる)」13、「甘えてくる (→大スキ、いじめてみたくなる)」、「子供っぽい、自分に色々たずねてくることがある人 (→良いことだと思う)」14、「物を聞くととき喜んで答えてくれる (→良いと思う)」15、他、甘えを指摘するもの多数 例外：ギャップ系／一時的：「ふだんしっかりしているのにふっとわがままになったり、甘えたりする人 (→かわいらしい)」16、「甘えるような仕草や初々しい表情 (→人はいくつになってもかわいらしさがあっていいと思う)」17、条件付肯定：「自分に甘えてくる (→それはそれなりにいいけれど度が過ぎるときもちわるい)」18

### Ⅲa 内面のイメージで、他の対象に向かうもの、属性的（無条件肯定の場合）

「こどもっぽい人、にくめない感じの人 (→大変良い)」19、「天然ボケしたりボーとしている人 (→いいと思う)」20、「にこにこ笑える人、無邪気でのびのびしてる (→すごくいい)」21、「照れている顔とか (→結構好きなタイプ)」22、「いたずらっ子 (→仲良くなりたい)」23、「恥ずかしがり屋とか甘えん坊。ちょっと女っぽい (→けっこう好き。母性本能をくすぐる)」24、「ぶきよう (→スキ)」25、「おもしろい。一生懸命やっている (→いいと思う)」26、「人のことを思っすぐ泣ける人。人を大事にしてくれる人。笑顔がかわいい人。(→女として母性本能をくすぐられるものがある)」27、他、子供っぽさや純粋さを指摘するもの多数

### Ⅲb 内面のイメージで、他の対象に向かうもの、属性的（条件付肯定あるいは無関心の場合）

「むじゃき (→普通のイメージと違う人が、たまにむじゃきになるのはいいと思う)」28、「少年のような目をしている人 (→基本的には好きな方だけど、やはり頼れる男性の方が良い)」29、「無邪気な人とか、おちゃめな人 (→いつもいつもかわいいわけではなく、時折かわいさがふと感じられる人は、人間的に魅力があると思う。)」30、「子どもみたいに甘えん坊でやんちゃ、少年みtainなイメージ (→時々かわいいのはいいけれど、いつもいつも子どもみたいだと頼りないと思ってしまう)」31、「何かを一生懸命している (→何も思わない)」32、「小さなことにこだわったり、なんでもないようなことが嫌いだったり、苦手だったりすること (→ふうん、そんなところがあるんだって思うだけ)」33、「ちょっとしたことでスグに顔が赤くなる (→何とも思わナイ)」34、「女の子っぽい感じの人 (→友達ならいいが付き合ったりはしたくない)」35

### Ⅳα 内面のイメージで、他の対象に向かうもの、一時的で特にギャップを強調しない、評価はさまざま

「何かができないとき (→そっちのほうがいい。好感がある。)」36、「一生けんめいな感じが伝わってくるとき (→よいと思う。うらやましい)」37、「ひっそり何かをしている姿 笑っている姿 (→好きと思う)」38、「他人の言葉に一喜一憂しているとき (→なにも思わない)」39、「子供みたいにひたむきになっている (→頼りない)」40、「何かに急に夢中になって子供

のようになるとき（→良いが頼れる人でもあってほしい）」41

#### IVβ 内面のイメージで、他の対象に向かうもの、一時的でギャップを強調

「いつもはしっかりしてる男性でも、ちょっとした拍子にあわてたりするときに“かわいい”と思ったりする そんなカンジ（→時々“かわいい”と思える程度ならばいいけど、それがいつもいつも“かわいい”と思えるような男性はいや）」42、「ときどきそういう部分を見せる人（→いいと思う）」43、「その人が常にかわいいというのではなくて、ちょっとした行動が子供っぽい（→特にバカにしているつもりはないです）」44、「一見かなり男らしいのだが、時折口にする言動がやけに子どもっぽかったりとアンバランスが感じられる男性は私は『かわいい』と想像する（→肯定的です）」45、「いつも『かわいい』と感じられないひとこそ、『かわいい』ときがある。例えば何かちょっと失敗をして言い訳をしている時とか、いつもは大人っぽい人が『いやだ!』とわがままっぽさを出した時など（→良ろしいと思う）」46、「見た目はごっつい人（ってゆーか、男らしい人）が、つまらないことで怒っている時、かわいいと思う（→常にかわいい男性はあまり興味がない。男らしい人にかわいい時があることがスバラしい）」47、「見た目やイメージとは違う子供っぽい行動、しぐさをする人（→子供っぽいにも限度があるが、少しならその人のいいところとして受け取れる）」48

#### その他（少数意見）

「ゆずとか SMAP のかとりしんごとか（→大変良い）」「甘いものが好きな男性（→年下に見える）」49、「パフェ・ケーキが好きな人（→タイプではない。けどそういう面を持っている人は好きだ）」50、「考えていることが手にとるようにわかるやつ（→男って子供ね…、私の好みじゃないわ フッ）」51、「行動がのろい（→好きではない）」52、「清潔感が在り、どこか親近感のある人（→他人として見ているぶんには良いが、夫であればかわいいだけでは困る）」53、「自分の仕事やすべきことはきちんとこなせる人で気取りのない人（→個人的にはわりと好きである）」54

### 資料3：かわいい中年女性のイメージ

（カッコ内はそうした女性に対する回答者の個人的意見）

#### I 外面的イメージ

「ちょこちょこしてる。小柄。明るい（→肯定的に思う）」1、「小さい。若々しい。気も若い。おしゃれ（→あんなになりたい）」2、「若づくりなのに、若づくりに見えない（→そんな風になりたい）」3

他、小柄、高い声を指摘する回答など。

#### II 内面的イメージ（距離を感じさせない系）

「考え方が若い世代と共通するところがある（→いいと思う）」4、「私たちと同じようなコ

トを考えている。自分を若いと思っている（→私もそうになりたい）」5、「おっちょこちょいだったり、年下の私とかにあやまるとき（→良いと思う）」6、「自分と同じレベルでよろこんだりしてる時（→近づきやすい）」7、「気さく（→話すのが楽しくてスキ）」8、「大人ぶっていない（→自分もそうになりたいと思う）」9、

### Ⅲ 内面的イメージ（「かわいい男性」「かわいい老人」にも共通する普遍的肯定要因：無邪気・天然ボケ・笑顔・素直な正の感情表現・一生懸命など）

「いろいろなことに無邪気に反応できる（→若ぶってるんじゃないくて、ほんとに自分達と同じように夢見てたりする人はすごくいいと思う）」10、「すなおに恥ずかしがったり、よろこんだりする（→よいと思う）」11、「明るく笑顔の魅力的な女性（→人柄の良さがあるの『中年のかわいい女性』なので好ましいと思う）」12、「笑顔がかわいい（→すごくいいと思う）」13、「おちゃめな人、チャーミングな人（→とくをしていると思う）」14、「天然ボケ（→いいと思います）」15、「一生けんめいな感じが伝わってくるとき（→よいと思う。うらやましい）」16

他、感情表現の素直さ、天然ボケなどを指摘する回答など多数。

### Ⅳ 内面的イメージ（はつらつ・若さ系）

「気分的に若い、パワーがある（→いいかんじ オバサンよりはいい）」17、「年のわりには話だいか、若い話をする（→良いと思う）」18、「明るくて、ミーハーな人（→とてもいいと思う）」19、「流行にうまくのっていける」20、「活発。若々しい。無邪気さがある（→自分もそうになりたい）」21、「女らしく、思いついたことをスグに行動にうつす人（→いい）」22、「年とっても若さを忘れてなく、洋服やおしゃれにも気をつけている（→全然いい）」23、「中年になっても若々しい女性。ハツラツとして笑顔が素敵な女性（→私もそうになりたいと思う）」24、「生き生きして、にこにこして、がんばっている（→中年になってもかわいくありたいと自分自身も思う）」25

他、「心の若さ」を指摘する回答など多数。

### Ⅴ 内面的イメージ（上品、控えめ、すれてない系）

「おだやかでひかえめでやさしい人（→とてもいいと思う。かわいらしさがあつたほうが好印象）」26、「恰好がかわいいというわけではなく、性格、つまり中味が長い間生きてきたのにどこか、大人になっていない、すれてない部分と合わせもつ女性（→とてもチャーミングだと思う）」27、「ひがみっぽくない（→いいと思う）」28、「人がとてもいい。いはゆる“オバタリアン”ではない」29、「ずうずうしくなく、協調性がある」20の続き、「高い声、ひかえ目（→別に構わないと思う）」30、「理屈っぽくなく、ニコニコとしていて、ほがらかな人（→自分が中年になったらそう思われたい）」31、「おっとりしてる人（→うらやましいと思う）」32、「女らしい、上品、ニコニコしてる人（→そんな人になりたい。中村玉緒）」33、「旦那さんのために常にきれいでいようと努力している。ex.化粧・服装など（→いいと思う。自

分もかわいいおばさん、おばあちゃんになりたい)」34、「古風なイメージ（→バカっぽいのはマズイけど程良ければ憧れる）」35、「少女の部分を残している（→理想的だと思う）」36、「金銭的に夫に依存していることを疑問にも不快にも感じない。家族が気持ちよく暮らせるようにすることを生活の目標にしている。社会について無知。苦悩のしわがきざまれていなくて若々しい（→そんなふうになりたくない）」37、他、でしゃばりすぎず、控えめであることなどを指摘する回答など多数。

#### 少数意見 1（甘え系）

「あまえたな人（→『こわい』よりいい）」38、「明るくはつらつとしていて、おしゃべり。声高い。甘えん坊。（→いいと思う）」39、「おばあちゃんのわがまま（→いいと思う）」40

#### 少数意見 2（ギャップ系）

「話すことが（いつもはしっかりしてる人で）時々子どもっぽくおちゃめなひと。おばさんぽくいやみを言わない人（→いいと思う）」41

#### 少数意見 3（批判的）

「幼い（→何ともいえない）」42、「ない（→ぜったいにかわいいなんてありえない）」43、「なし（→気持ち悪い。そんなこと思わない）」44

#### 少数意見 4（円熟系）

「たくさんの経験をしてきたからこそ、幼い子のように鋭い感性をもっている人（→とてもあこがれる）」45、

#### その他、人名など

「岡江久美子とか（→そうなりたいもんだと思う）」46、「朝岡雪路さん（→ずっとそのままでもいい）」47、「風吹ジュンさん（？）みたいなイメージ」48、「浅田美代子＝年齢を感じさせない人ってイメージ（→自分もそうなりたいと思う）」49、

#### 付：かわいいということをとどめる・とどめないことについて

「女性がかawaiiのは喜ばしいこと。言いましょう」50、「かわいいということと言っても、そのニュアンスを正しく受け止めてくれそうな人や、雰囲気を決めます」51、「今の若い人が使う『かわいい』と、年配の人が使う『かわいい』とではニュアンスが違おうと思うので、おばさんに『かわいい』といって喜ばれないようなきがするから、いわない」52

### 資料 4：かわいいおばあちゃん・おじいちゃんのイメージ（第一回調査）

（カッコ内はそうした老人に対する回答者の個人的意見）

#### I 外見的イメージ

「ちっちゃい人（→いいと思う）」1

その他、小柄など

## Ⅱ 内面的イメージ（愛情・しあわせ系）

「子供、孫、あるいは猫や犬などの生き物に愛情をそそげる人（→大人になっていろいろな経けんをした人こそ、その経けんの結果かわいくなれたらすてきだと思う）」2、「誰かにたいして一生懸命いい事をしている時（プレゼントを選んだりなど）（→ああいう風になりたいし、自分の親にもなってほしい）」3、「夫婦仲良くしている。明るく楽しい老後をおくっている（→幸せな老後をおくっているならいいと思う。人に迷惑をかけない程度に残りの人生を楽しめばいい）」4、「いつもにこにこして孫をととても可愛がっている」5、「二人で仲良く手をつないでいたり、お互いを大切にしていそうなとき（→とてもいいことだと思う。私もかわいいおばあちゃんになりたい。）」6、「おじいちゃんおばあちゃんが仲良く歩いている（→自分もあんなふうになりたいと思う）」7、「優しい人（→良い。そういう老後が送りたい）」8、「その人のやさしさとかが、かわいいというイメージになる（→年の功のせいで物知り）」9、「楽しそう。笑顔がいい。人生を楽しんでいる（→幸せそうでいいと思う）」10、「にこにこしてる（→ほほえましい）」11、「あのさんまのからくり TV にでるような人。ビデオレターを見てるとかわいい（→とても魅力的である）」12

「老夫婦が手をつないで」というイメージは頻出。CMの影響によるものか。ほか「にこにこ・笑顔」「やさしい」という言葉も非常に多かった。

## Ⅲ 内面的イメージ（一生懸命・無邪気・天然ボケ系 子供のイメージを含む）

「自分の趣味に楽しく打ち込んでいる（→将来そうなりたいと思う）」5の続き、「一生けんめいな感じが伝わってくる（→良いと思う。うらやましい）」13、「子どもみたいにはしゃいでいるとき（→とても良い。うれしくなる）」14「子供にかえたような無邪気な人（→自分がちえをわけてもらふときもあるし、相手をしてあげていると思うときもある）」15、「ボケているところ（→ご長寿早押しクイズ）」16、「さんまのスーパーからくり TV の長寿クイズのじーちゃん ばーちゃん（→あんな風に年をとってずっと過ごせたら最高!）」17

素直、無邪気、一生懸命の語多し。天然ボケ系もいくつか。ただし「ぼけ」とはとっても重度の痴呆症をイメージしたようなものはない。

## Ⅳ 内面的イメージ（のんびり・おだやか系）

「おだやかなおじいさん（いいと思う）」「温和なイメージの人（→好感を持つ）」18、「動きがゆっくりとしていて、笑顔がたえない、ほのぼのした感じ（→見ていて心が安らぐ感じがする）」19、「ひなたぼっこをしてる（→いい年の取り方をしていると思う）」20、「縁側にちょこんと座って、お茶をすすっている、おとなしい感じ（→ああいいなあ）」21、「なんでもゆっくりしてのんびりで心が広くてあたたかいイメージ（→大好き）」22、「いつもにこにこしていたり、穏やかな表情をしているとき（→大好き）」23、「ほのぼのしている。見ていてほっとする。小柄、優しい」24、

他「のんびり」「ゆっくり」「縁側」「ひなたぼっこ」多し。

#### IV' 内面的イメージ（弱さ系）

「ちいさなかんじ、たよりなげ（→親近感がわく）」25、「細くて弱々しいおじいちゃんとおばあちゃんがよりそって歩いている（→見ていてほのぼのとしたあったかい気持ちになる）」26、「よろよろして守ってあげたい。目がくぼんでクリクリ」27

#### V 内面的イメージ（円熟・謙虚系）

「笑顔でむっちゃ礼儀正しい人（→いいと思う）」28、「怒るときのしわより、笑うときのしわのほうが多い。あたたかみのある顔をしていつもにこにこしている（→かわいい老人は優れた内面が長年の謙虚さ、深い愛情、老人になってから身についたこだわりのなさでかくされているのだと思う。徳のある人だと思う）」29「にこにこしていて、ふっくらしていて、やさしくて、親しく話してくれる人。理屈っぽいことや昔っぽい説教をしない人（→かわいいおばあちゃんになりたい）」30、

#### VI 内面的イメージ（若さ・元気系）

「考え方が若い人と共通する部分があったり前向きだったり、色々なことにチャレンジしたりする人（→いいと思う）」31、「活発・無邪気さを持つ（→自分もそうになりたい）」32、「年を取っても着かざっておしゃれにしてる人」33、「（かわいい中年の女性同様）やっぱり心がみずみずしくて若々しかったりする（→私もそうになりたい）」34、「昔の考えばかりにとらわれないで、新しい考えや世間の流れを素直に受け入れ、いろいろなことにチャレンジしている人。いつもニコニコしていて優しい人（→素敵だと思う。私もかわいいおばあちゃんになりたい）」35、「少し強気な人、またはいつも笑っている人（→いいと思う）」36、「健康そうな人、素朴な人（→そういう人たちが増えてほしい）」37

#### 少数意見

「おっちょこちょいをしてしまったとき（→ほほえましい）」38、「失敗してしまったときにありゃありゃやってもたとゆっくりしたスピードではずかしがっているとき（→いろいろな人に受けが良くやさしくしてもらえるから得だと思う）」39、「かわいいとは思いますが、中年の男性・女性のかわいさとはまったく別のものです。あまり身近にかわいいとは思いません（→良いと思います）」40

#### その他（人名など）

「キンさんギンさんみたいな人（→スキ）」41、「スプーンおばさん、ちびまるこちゃんのおじいちゃん（→いいと思う）」42、「背を丸めてあみものしていたりする姿（→かわいいおじいちゃん、おばあちゃんは家族の中で大切にされてそう）」43

資料5：70代以上のかわいい女性・男性のイメージ（第二回調査）

（カッコ内はそうした70代以上の人に対する回答者の個人的意見）

I 外見的イメージ

「女性：白髪をひつつめ髪にした小さな典型的なおばあちゃん、男性：縁側でぼんやりしている、やせたおじいちゃん（→かわいいお年寄りを見るとそういう風に年を取りたいと思う）」1、「よばよば（→そのように老いたい）」2、「小さい、片仮名の発音が悪い（→よい。自分もそう言われたい）」3、「顔がほがらかで丸顔、背は低い」4

II 内面的イメージ（愛情・しあわせ系）

「笑顔、優しい（→好意を持ちます。自分も将来そうなりたいという気持ちになります）」5、「女性：自分の夫のこととかを、幸せそうに話す人（→とてもいい）」6、「平和そう。笑っている（→素晴らしい）」7、「小さくって笑顔の良い人。いつも笑顔で人間性ができている（→こんな風になる）」8、「結婚しているおじいちゃんとおばあちゃんが手をつないでいる（→心が暖まるし自分もそうなりたいと思う）」9

他、笑顔を指摘する回答多数。しかし、「老夫婦が手をつないで歩いている」というイメージは他に1つ（「チャーミーグリーン」の昔の宣伝のようなおじいさんとおばあさん。にこやかで元気で明るいイメージ（→いいと思う）」10のみ。

III 内面的イメージ（一生懸命・無邪気・天然ボケ系、子供のイメージを含む）

「ちびまるこのおじいちゃんみたいな人。プレゼントをもらった時にドキドキしている人（→アルツハイマーは軽ければ“かわいい”の対象になるかも。おもしろいし）」11、「素直でにこにこしている（→年をとったらかわいくなるべきだと思う）」12、「年をとっても若いときの趣味を楽しんで夢中にやっている人〔例えばゲームとか一生懸命やってる人〕（→男女問わずいいなと思う）」13、「テレビのクイズ番組などで本人は真剣だが的外れな答えを言うたりする（→私はこのようなイメージをもつが、それは“老い”で起こることかもしれないので、『かわいい』と感じるのは失礼ではないかとも思う）」14、「さんまのからくりTVのご長寿クイズのボケ解答をする感じ。『ああもう、フフ』（→男女とも良いと思う）」15、「行動がおもしろい人（→年をとってもかわいいと思われることはいいと思う）」16、「自分で自分のことができない赤ちゃんのようなイメージ（→おちゃめでいいと思う）」17、「子供のようなところ（→すてきだと思う）」18

IV 内面的イメージ（ほのぼの系）

「ほのぼの。しゃんとしてない方がいい（→かわいいとちほうはちがうと思う。しいとかわいいもちがう）」19、「ほのぼのした人、優しさが顔に出ている人」20、「ほのぼのしている人（→好き）」21

小 原：「かわいいおばあちゃん」

など、「ほのぼの」の語、非常に多数。「のんびり」は見られなかった。

#### V 内面的イメージ（円熟・謙虚系）

「謙虚な感じでおだやかであったかい感じがする人」22、「明るく前向き、自分の失敗を笑える人（→自分もそのように歳を重ねたいと思う）」23、「年をとってることに対してえらぶらない人（→女性：絶対こんなばあちゃんになりたいと思う。男性：若い時どんな人だったんだろう。戦中を生きてきてよくこんなかわいくなれたもんだ）」24

#### VI 内面的イメージ（若さ・元気系）

「自分で健康とかに気を使ってウォーキングとかをしてる人（→自分が年をとったらそうになりたい）」25、「いきいきとしてる」26、「元気、なにごとにもやる気がある（→こういう風に年をとりたいなと思う。理想的な老人?）」27、「小さい・元気（→ひくつになっていないのがいい）」28